

全国学力学習状況調査結果と今後の取組について

4月19日に実施されました、3年生対象の全国学力学習状況調査(国語[A, B]・数学[A, B]の学力調査, 質問紙による学習状況調査)の結果が返却されましたのでお知らせします。

【学力調査】

- ・国語・数学とも、A問題(基礎)の平均正答率は県平均を上回りました。
- ・B問題(活用)については、国語の平均正答率は県平均を上回りました。数学は県平均をわずかに下回りました。
- ※国語は、漢字の書き取りや語句の意味、文章を読み取る力は身につけています。説明的文章から、その内容を的確に把握することに課題があります。
- ※数学は、基本的な計算や、方程式を解くことはできます。
ある一定条件から推論を推測したり、その理由を説明したりすることに課題があります。

【学習状況調査】

- 将来の夢や目標を持っている。
- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 授業の中で、自分の考えをもつ時間がある。
- 学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う。
- ★家で、授業の復習や自分で計画を立てて勉強することがあまりできていない。
- ★平日の家庭学習の時間が1～2時間の割合が多く、2時間以上勉強をする割合が圧倒的に少ない。
- ★学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う。
- ★平日、2時間以上テレビやビデオ・DVDを見る割合が多い。

【今後の取組】

- ・授業で学び合いの活動を設定して、自分の考えを伝える、他者の考えと自分の考えを対比させる活動を増やす。
- ・既習事項の復習を授業に取り入れる。
- ・学習プリントを工夫し、解答に至る思考の筋道を意識させる。
- ・家庭学習を充実させるため、授業での「振り返り」が家庭学習の「めあて」につながるようにする。適切に点検・評価をすることで、家庭学習への意欲を喚起する。
- ・岡山版「家庭学習の手引き」をもとに、家庭学習の仕方や効果的な学習方法を指導する。
- ・中学校ブロックで、学期1回の「ノーメディア・デー」の取組を進め、メディアコントロールの意識を高める。